

## 函館市の観光振興の現状と今後の施策について

---

令和元年7月22日（月）

## 1 函館観光の現状

(1) 函館市の観光入込客数の推移	1
(2) 函館市の観光入込客数の推移（宿泊客・日帰り客）	2
(3) 函館市の観光入込客数の推移（道内客・道外客）	3
(4) 北海道観光入込客数に占める函館市の観光入込客数の割合（道外客）	4
(5) 函館市の外国人宿泊客数（全体）	5
(6) 函館市の外国人宿泊客数（主な国・地域別）	6
(7) 函館市の外国人観光客実数（推計）	7
(8) クルーズ客船入港状況	8
(9) 市内イベント開催状況	9
(10) 函館市観光基本計画の進捗状況	11
(11) 令和元年度（2019年度）観光部予算	13

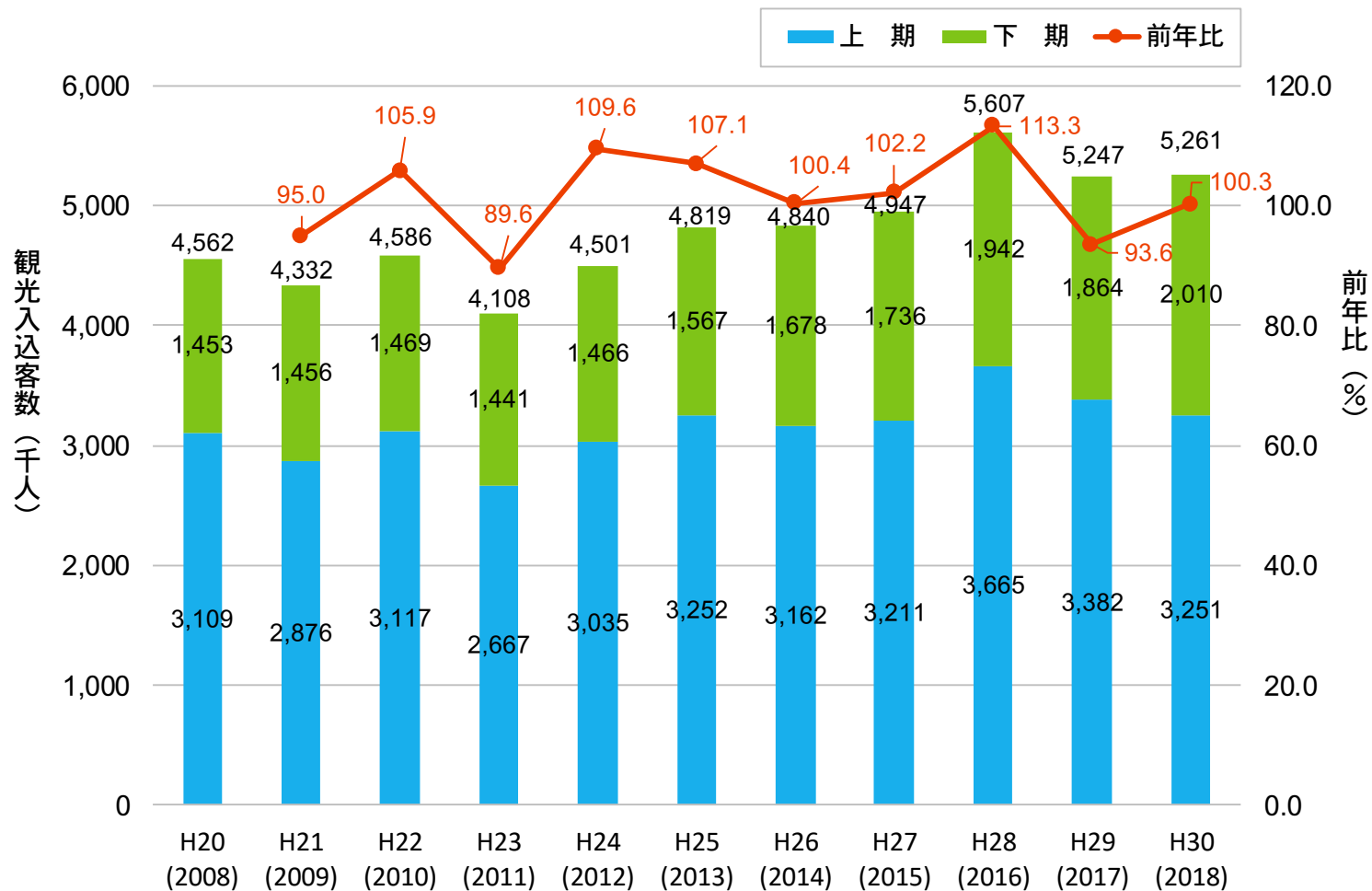
## 2 今後の観光施策

(1) 函館観光の課題	22
(2) 今後求められる観光施策の取り組みについて	23
(3) 今後の課題解消に向けた取り組みに資する他都市の施策事例	24

# 1 函館観光の現状

## (1) 函館市の観光入込客数の推移

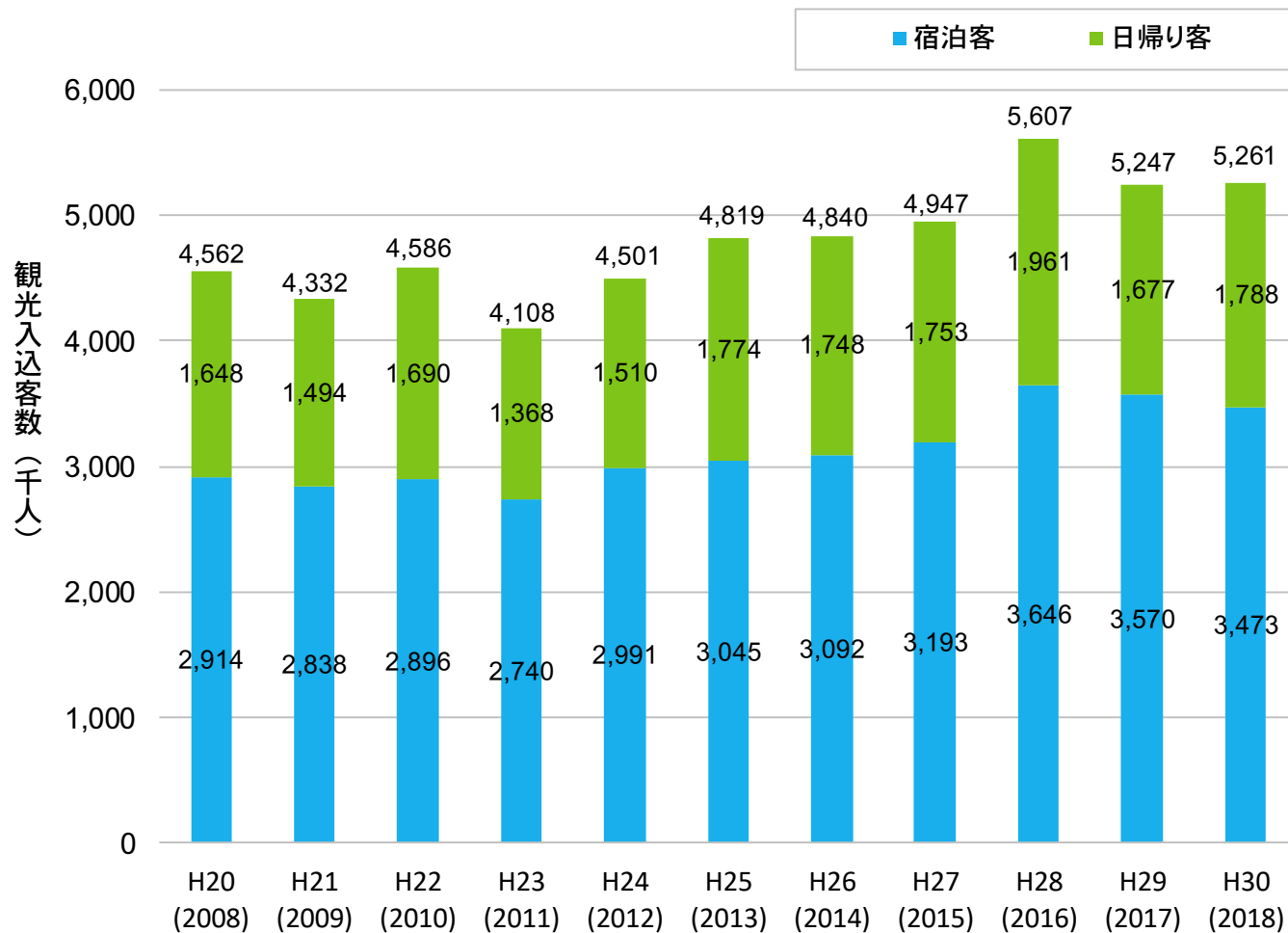
- ・ 平成30年度（2018年度）： 約526万人
- ・ 平成28年度（2016年度）： 過去最高の約560万人



# 1 函館観光の現状

## (2) 函館市の観光入込客数の推移（宿泊客・日帰り客）

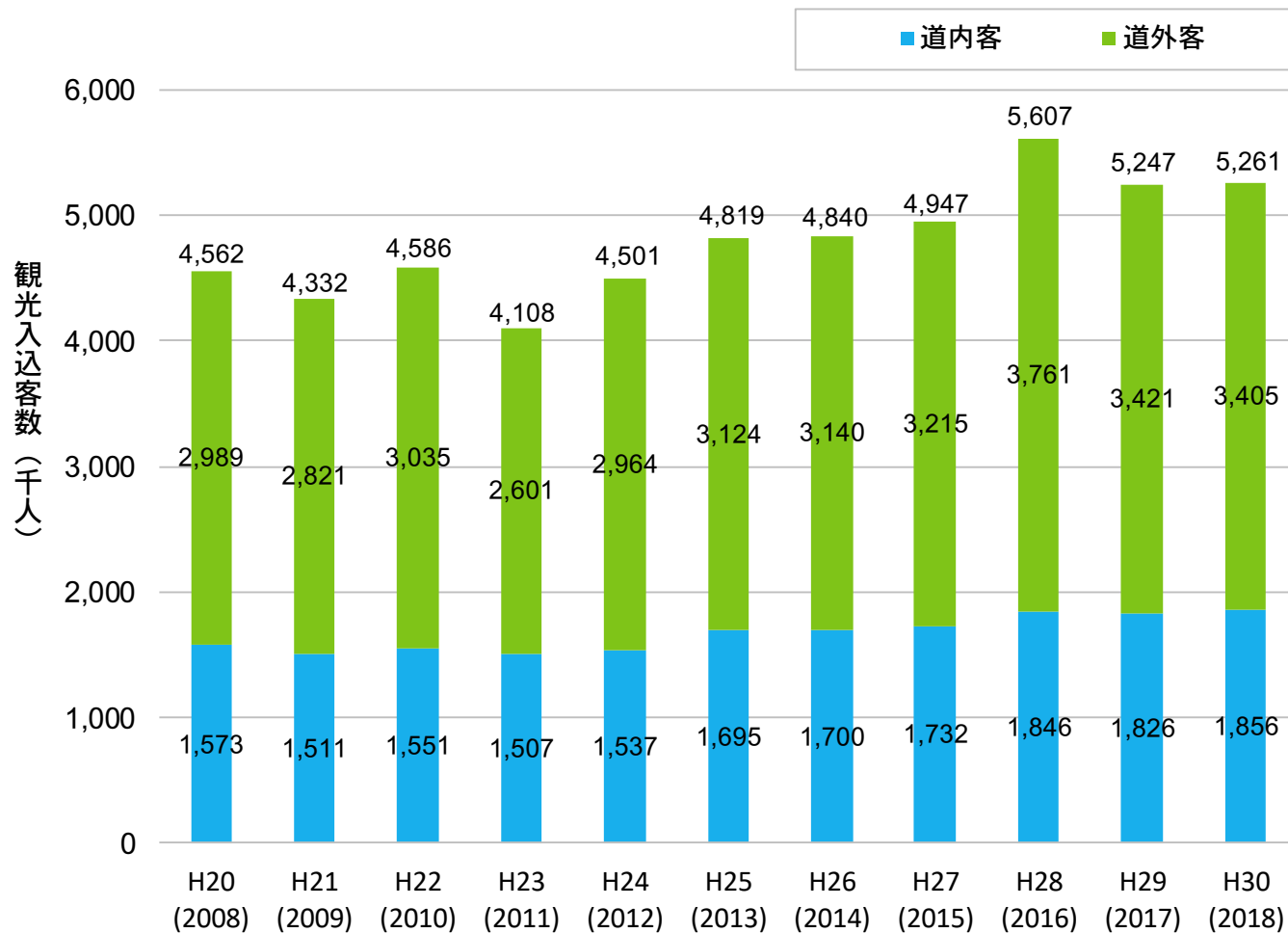
- ・ 宿泊客の方が多い



# 1 函館観光の現状

## (3) 函館市の観光入込客数の推移（道内客・道外客）

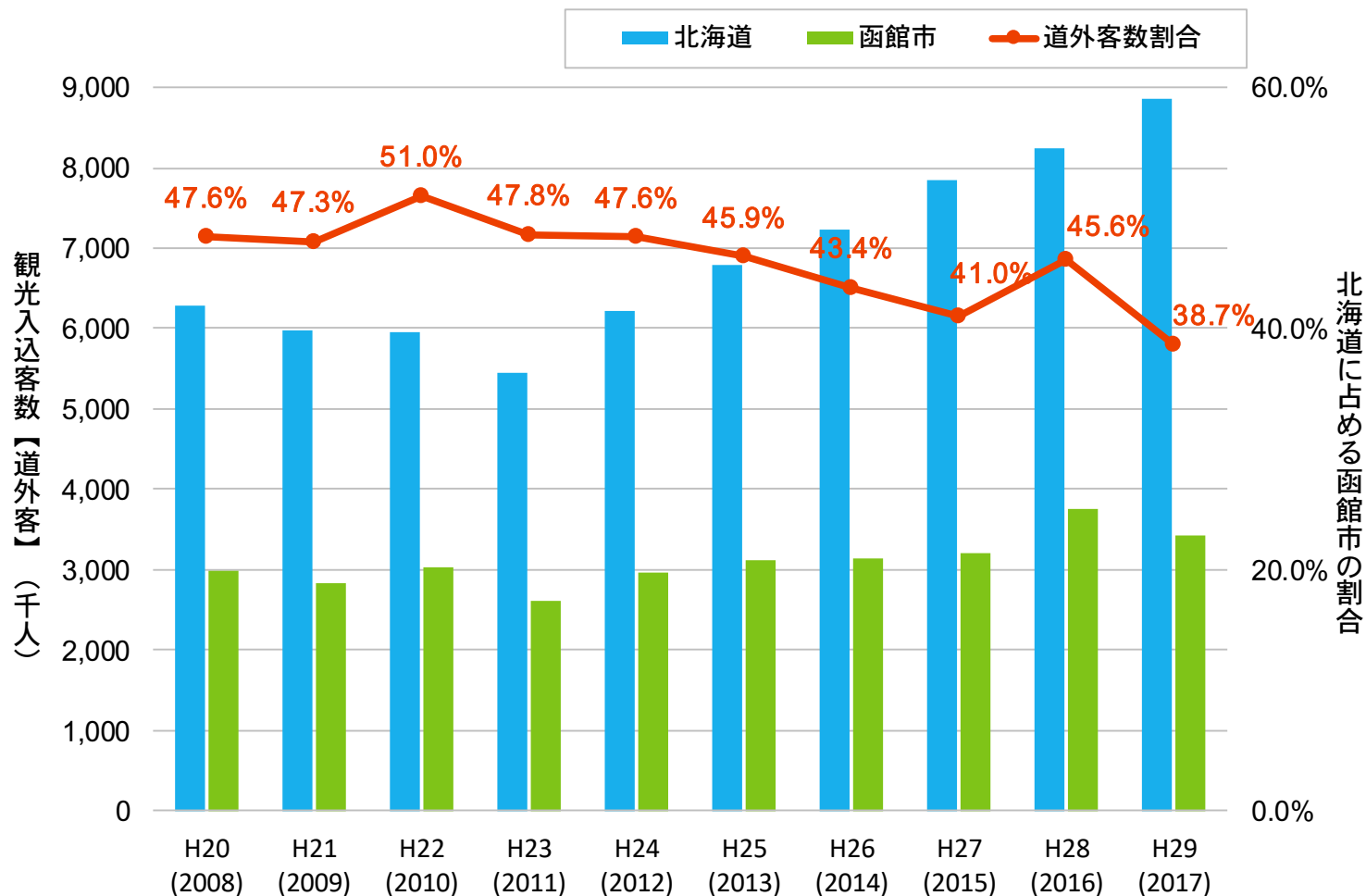
- ・ 道外客の方が多い



# 1 函館観光の現状

## (4) 北海道観光入込客数に占める函館市観光入込客数の割合（道外客）

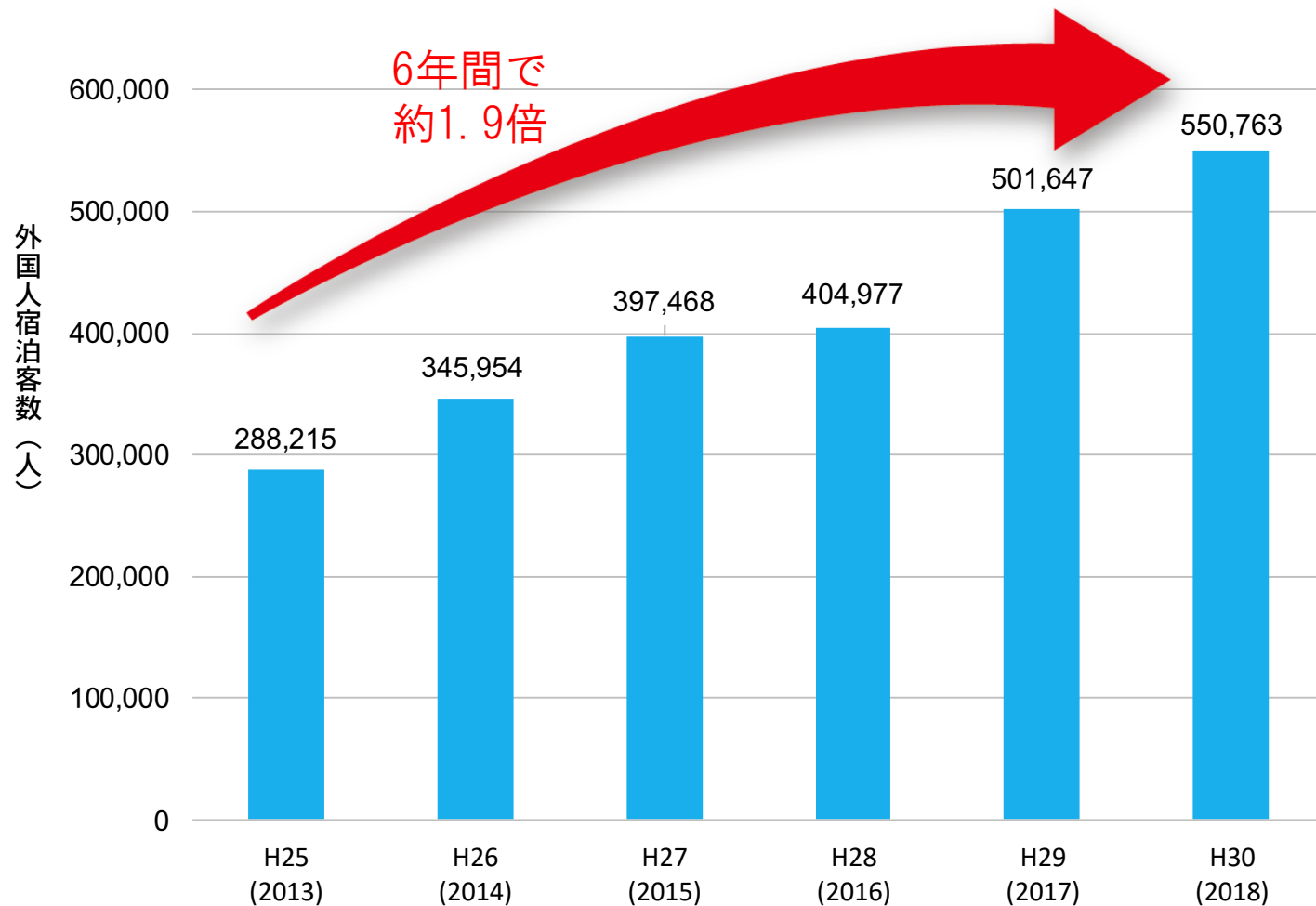
・北海道の道外客入込客数に対する函館市のシェア率は概ね4割～5割にもおよぶ



# 1 函館観光の現状

## (5) 函館市の外国人宿泊客数（全体）

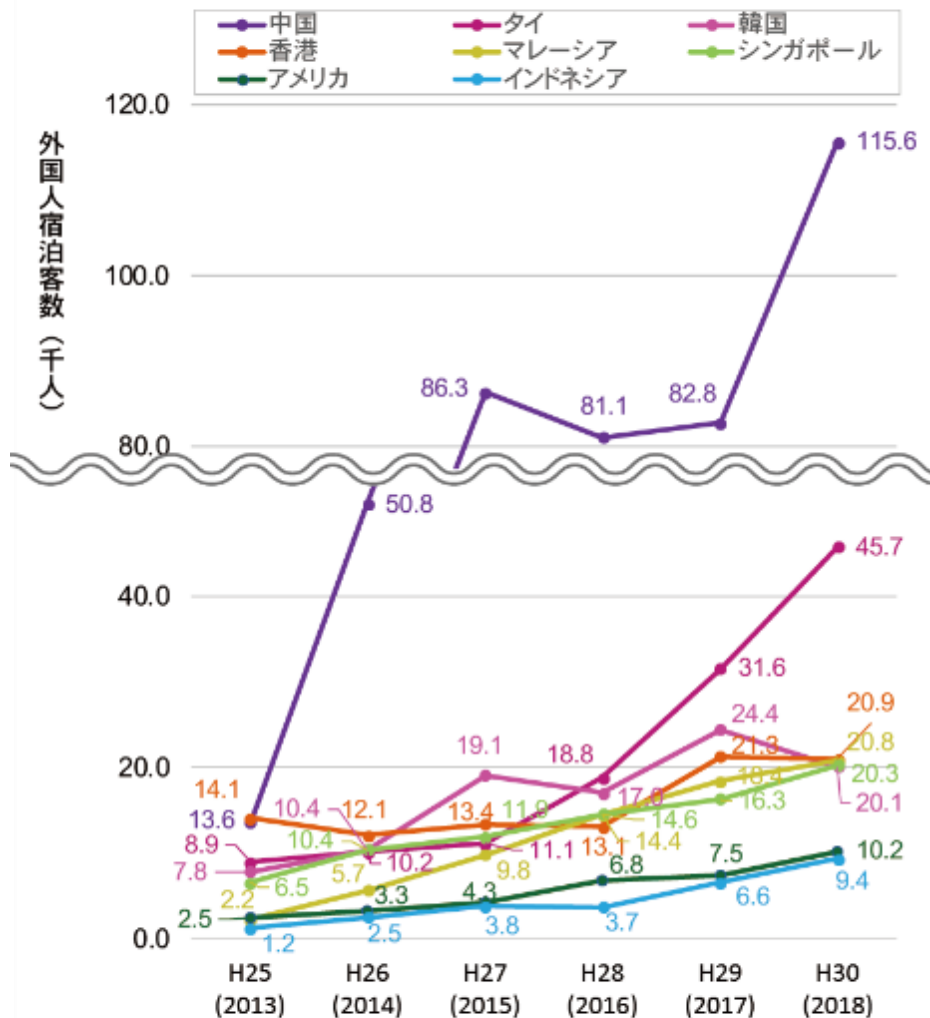
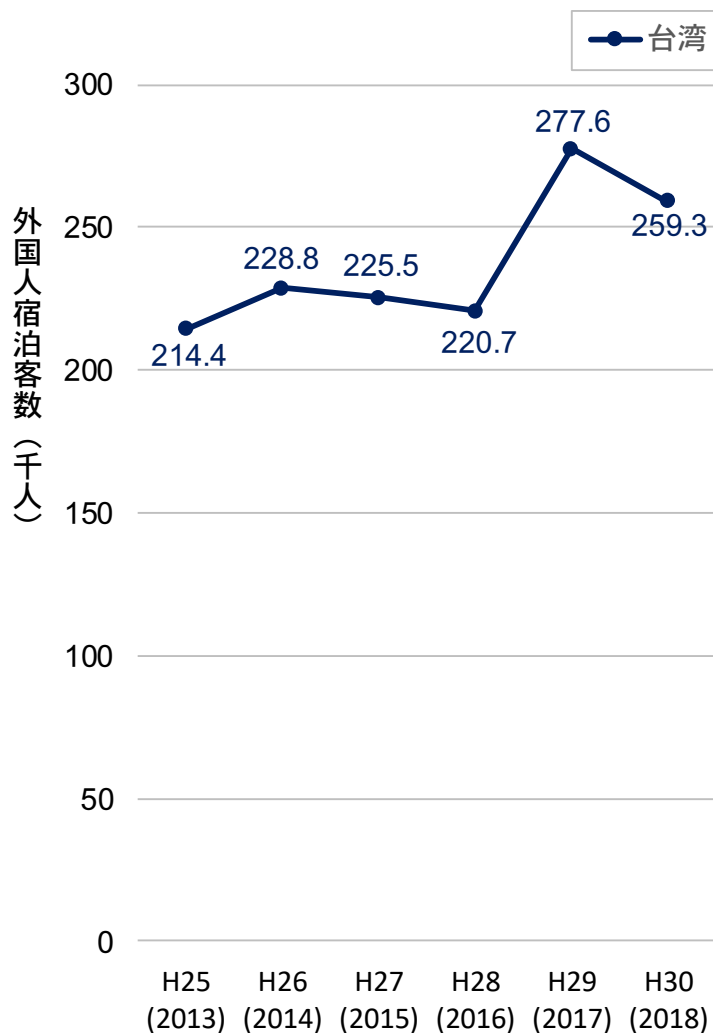
- ・平成25年度（2013年度）と平成30年度（2018年度）を比較すると約1.9倍



# 1 函館観光の現状

## (6) 函館市の外国人宿泊客数（主な国・地域別）

- ・台湾が最も多く、次いで中国、タイ等と続く
- ・近年は東南アジア地域が伸びている



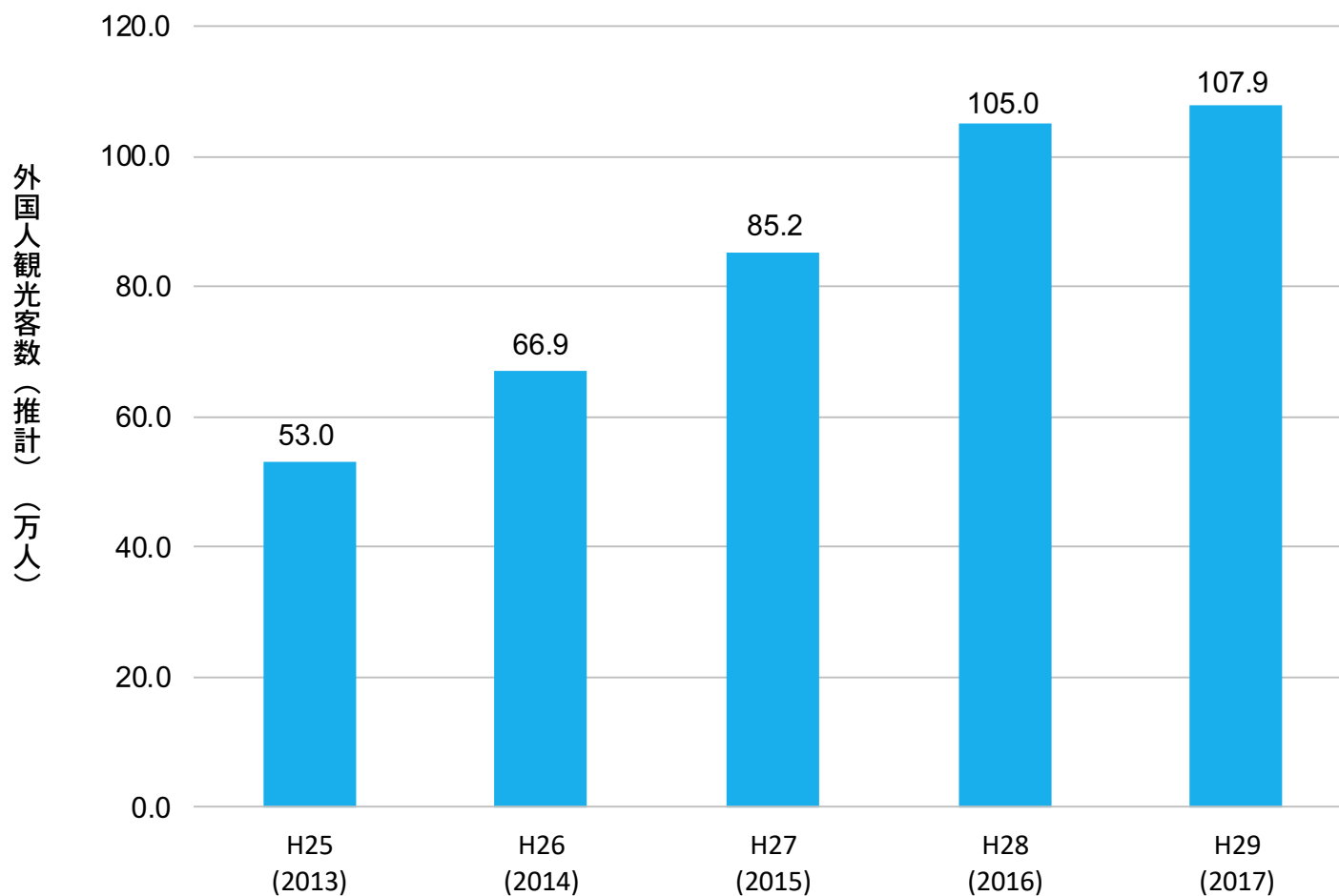
出典：来函観光入込客数推計



# 1 函館観光の現状

## (7) 函館市の外国人観光客実数（推計）

・ 北海道の道外客のうち、外国人が占める割合を基に、本市における外国人観光客実数を推計

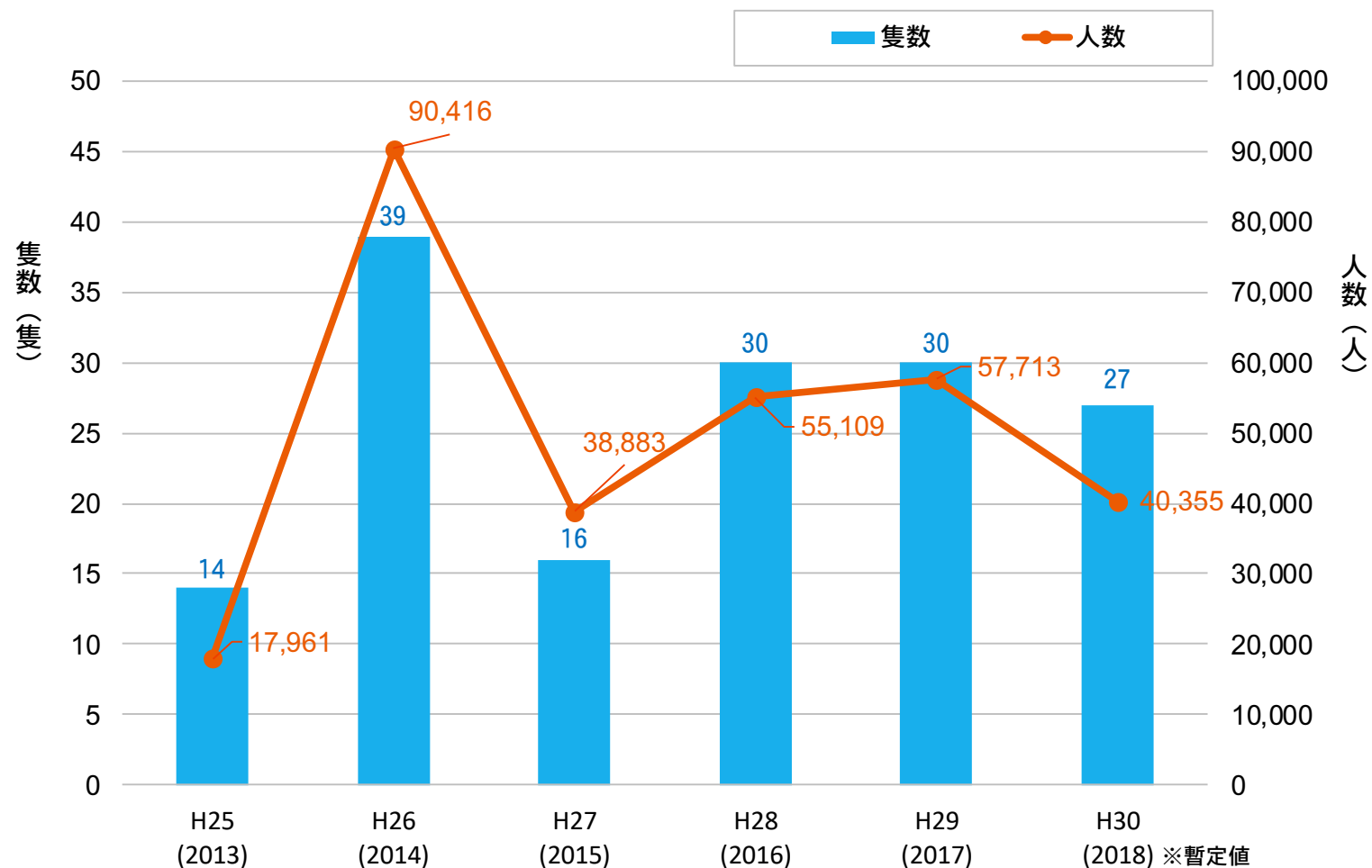


出典：北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部観光局），来函観光入込客数推計

# 1 函館観光の現状

## (8) クルーズ客船入港状況

- ・平成30年度（2018年度）：若松ふ頭暫定供用開始
- ・令和元年度（2019年度）入港予定数：51隻



# 1 函館観光の現状

## (9) 市内イベント開催状況

・年間を通じて様々なイベントを開催

イベント名称	開催日 (平成30年度(2018年度))
函館西部地区バル街	4/22, 9/2
箱館五稜郭祭	5/19~5/20
恵山つつじまつり	5/19~6/3 ※ イベントデー: 5/27
南茅部ひろめ舟まつり	6/9
函館マラソン	7/1
市民創作 函館野外劇	7/13~8/11
函館港まつり	8/1~8/5
はこだて国際民族芸術祭	6/10 (プレイベント) 8/4~8/11
道南函館黒船	7/21~7/22
はこだて国際科学祭	7/21~8/12 (プレイベント) 8/18~8/26
はこだて夜祭り in グリーンプラザ	8/15~8/17



# 1 函館観光の現状

## (9) 市内イベント開催状況

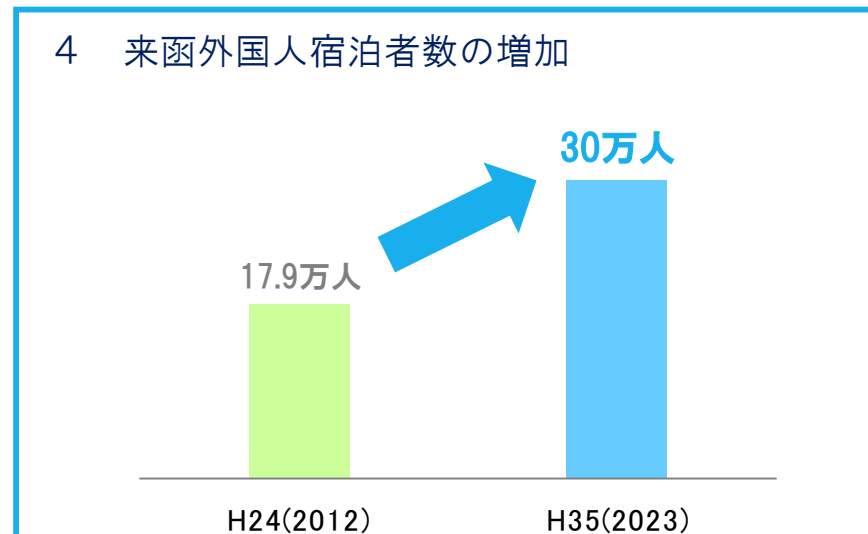
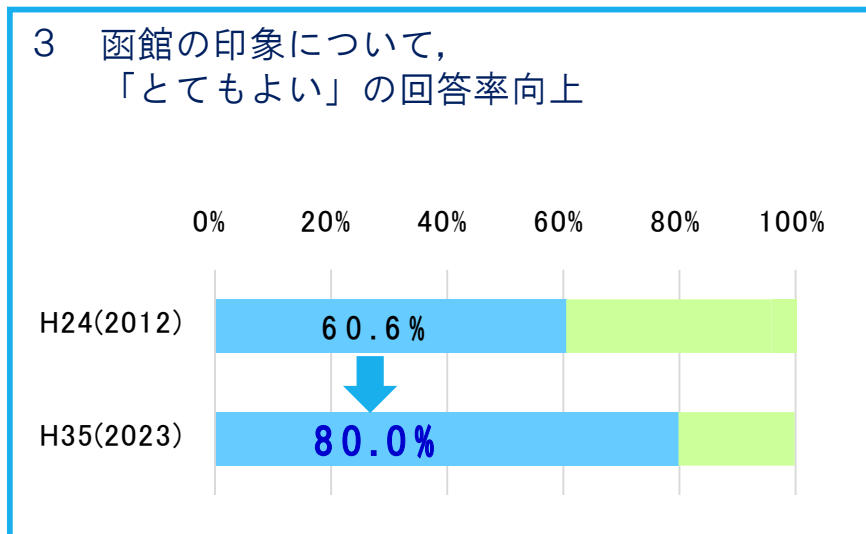
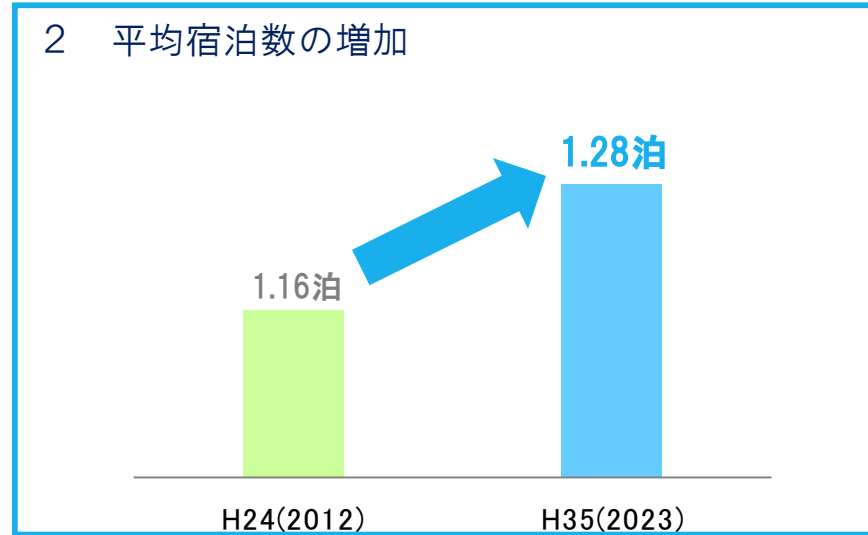
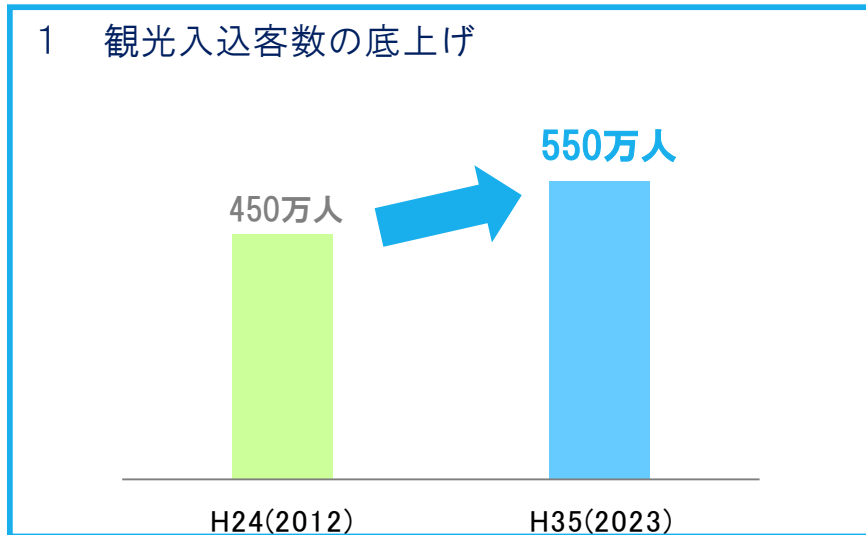
イベント名称	開催日 (平成30年度(2018年度))
湯の川温泉花火大会	8/19
はこだてグルメサーカス	9/8~9/9 ※中止
はこだておいしいフェスタ	10/6~10/7 ※10/7中止
はこだてMOMI-Gフェスタ	10/21~11/12
はこだてクリスマスファンタジー	12/1~12/25
はこだてイルミネーション	12/1~2/28
五稜星の夢	12/1~2/28
函館港イルミナシオン映画祭	12/7~12/9
函館海上冬花火	2/8~2/10
ひかりのガーデン	2/9
恵山ごっこまつり	2/14
はこだてFOODフェスタ	2/23~2/24



# 1 函館観光の現状

## (10) 函館市観光基本計画の進捗状況

● 目標値の設定（平成35年度（2023年度）目標値）



# 1 函館観光の現状

## (10) 函館市観光基本計画の進捗状況

### ● 目標値の達成状況

#### 1 観光入込客数の底上げ

観光入込客数			
目標値 H35 (2023) 年度	達成状況 H28 (2016) 年度	現状 H30 (2018) 年度	目標値達成状況
550万人	560万人	526万人	目標値達成

#### 2 平均宿泊数の増加

平均宿泊数			
目標値 H35 (2023) 年度	達成状況 H30 (2018) 年度	現状 H30 (2018) 年度	目標値達成状況
1.28泊	1.27泊	1.27泊	目標値まであと0.01泊増

#### 3 函館の印象について、「とてもよい」の回答率向上

「とてもよい」の回答率			
目標値 H35 (2023) 年度	達成状況 H27 (2015) 年度	現状 H29 (2017) 年度	目標値達成状況
80.0%	81.1%	65.0%	目標値達成

#### 4 来函外国人宿泊者数の増加

来函外国人宿泊者数			
目標値 H35 (2023) 年度	達成状況 H26 (2014) 年度	現状 H30 (2018) 年度	目標値達成状況
30.0万人	34.6万人	55.1万人	目標値達成

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

・観光部予算額 : 594,494千円(商工総務費を除く)

(単位:千円)

項目	概要	予算額
国内観光プロモーション実施経費		20,900
観光キャンペーン実施経費	・商談会, イベント, 物産展等参加 ・教育旅行誘致 ・冬季観光誘客 など	20,900
海外観光プロモーション実施経費		35,632
観光プロモーション実施経費 ※一部6月補正	・各国の旅行博等への出展 ・メディア, インフルエンサー招請 など	13,932
中国デジタルプロモーション実施経費	・KOL (key Opinion Leader: 多数のフォロワーを抱え影響力の高い人物) による観光情報発信 ・有名動画サイトを活用した動画制作, 配信 など	10,000
インバウンド向けコト消費発掘・拡大 事業実施経費 ※6月補正	・コト消費コンテンツの発掘, 観光客や旅行会社へのPR など	7,000
海外観光客誘致促進協議会負担金	・官民連携組織による海外からの観光客誘致	4,700

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
観光客受入環境整備経費		54,810
函館駅前イルミネーション関係経費	・ 函館駅前広場でのイルミネーション開催	30,900
滞在型観光促進経費	・ まち歩きマップの増刷, 観光パンフレット「Goo-Route Hakodate」の作成	1,200
観光ホスピタリティ向上経費	・ ホスピタリティ向上のため, 観光ボランティアガイド育成事業を実施	1,765
インバウンド対応スキルアップ人材育成経費	・ 国内外の観光客の多様なニーズに対応し, 質の高いサービスを提供可能な観光産業従事者の育成事業を実施	400
外国人観光コンタクトセンター運営経費	・ 外国人観光客の問合せにメールやSNSなどで対応	3,129
HAKODATE FREE Wi-Fi運営管理費	・ 主要観光エリアにおける無料Wi-Fiサービスの提供	2,416
観光動向調査経費	・ 国内外からの来函観光客の動向や満足度等の調査を実施	8,900
観光客動態調査経費	・ 携帯電話の位置情報を活用して, 国内外からの来函観光客の動態調査を実施	6,100



# 1 函館観光の現状

## (11) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
広域観光連携関係経費		11,488
広域観光連携推進経費	・さいたま市を中心とした東日本エリアの各都市と連携した東日本広域周遊ルートの検討 など	2,908
青函圏周遊促進関係経費	・ガイドブックを作成し青函圏の観光情報を発信	500
北海道新幹線新駅沿線協議会負担金	・「はこだて旅するパスポート&フリーパス」の発行 など	180
戊辰戦争終結150周年記念事業開催負担金	・戊辰戦争終結150周年の節目をむかえるにあたり、ゆかりの地でのモニュメント展示や周遊ルートの開発	1,500
北海道ドラマティックロード推進協議会負担金	「北海道ドラマティックロード」の周遊促進に向け、札幌市・登別市と一体的なプロモーションを実施	3,000
道内中核都市観光連携協議会事業負担金	・道内中核6都市(札幌市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、函館市)の連携による相互送客および情報共有 など	1,400
青函圏観光都市会議負担金	・青函4市(青森市、弘前市、八戸市、函館市)での共同プロモーション等を実施	1,500
北前船日本遺産推進協議会負担金	・日本遺産である北前船の歴史を広く発信するため、他自治体と連携し、各種PRを実施	500

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
地域ブランド関係経費		3,900
フェスティバルタウン推進経費	・市内で開催されている様々なイベント情報を集約したWebサイトの運営	3,600
ブランド形成推進費	・函館の街並みなどを活かして「函館＝恋・カップル」というイメージを浸透させるため、PRツールを作成	300
観光客誘致宣伝経費		26,527
観光宣伝印刷物等作成経費	・観光パンフレットやリーフレット、ポスターなどを作成	9,900
観光ポータルサイト「はこぶら」関係経費	・観光情報を提供するポータルサイトの管理運営、SNSでの情報発信を強化	15,127
観光大使等関係経費	・はこだて観光大使の名刺作成、東京・関西などのふるさと会への参加ほか	1,500

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
函館フィルムコミッション関係経費		2,700
ロケーション誘致・支援推進費	・映像制作者に対し、「はこだてFC」の周知やロケの情報収集、誘致を実施 など	700
函館港イルミネーション映画祭開催補助金	・「函館港イルミネーション映画祭」開催に対する助成およびシナリオ大賞(函館市長賞)の贈呈	2,000
コンベンション誘致関係経費		6,600
コンベンション誘致推進費	・各種商談会への参加や関係機関への訪問等を実施するほか、コンベンション開催にあたり参加記念品の提供など、開催支援を実施	2,800
大会補助金	・国際・全国・全道的な規模の各種大会の開催に対し助成	2,800
コンベンション開催補助金	・国際・全国・全道的な規模の学会等のコンベンションの開催に対し助成	1,000

# 1 函館観光の現状

## (11) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
観光行事関係経費		106,996
箱館五稜郭祭開催負担金	・ 開催50回目を記念し、「五稜郭おもてなし隊」などの特別事業を実施	4,200
港まつり開催負担金	・ 開港160周年を記念し、長崎市から「龍踊り」を特別招へい	26,200
はこだてグルメサーカス開催負担金	・ 開催日：令和元年9月7日(土)～8日(日)(予定)	20,000
はこだてクリスマスファンタジー開催負担金	・ 開催日：令和元年12月1日(日)～25日(水)(予定)	16,100
はこだて冬のイベント開催負担金	・ 開催日：令和元年12月1日(日)～令和2年2月29日(土)(予定)	7,500
大沼・函館雪と氷の祭典開催負担金	・ 開催日：令和2年2月8日(土)～2月9日(日)(予定)	240
湯の川温泉花火大会開催補助金	・ 開催日：令和元年8月17日(土)(予定)	1,500
五稜星の夢開催補助金	・ 開催30周年を記念し、イルミネーションの拡充やグルメブースの新設などを実施	1,800
はこだてMOMI-Gフェスタ開催経費	・ 開催日：令和元年10月19日(土)～11月10日(日)(予定)	4,400
その他諸経費	・ 広告掲載料 など	2,556
湯の川冬イベント開催負担金 ※6月補正	・ 冬季に湯の川エリアにおいて新たなイベントを開催	15,500
はこだてひかりのガーデン開催経費 ※6月補正	・ 「光」をテーマとした冬季イベントを試験的に開催	7,000

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
観光関係団体負担金		1,290
北海道観光振興機構負担金	・ 各種観光関連団体に対する負担金	670
日本観光振興協会負担金		100
函館圏優良土産品推奨実行委員会負担金		20
国際観光振興機構負担金		300
箱館高田屋嘉兵衛顕彰会負担金		200
函館国際観光コンベンション協会補助金		34,400
函館国際観光コンベンション協会補助金	・ (一社) 函館国際観光コンベンション協会の運営に対する補助金	34,400
ツインシティ交流事業費		600
青函観光宣伝協議会負担金	・ 青森市との共同プロモーションを実施	600

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度(2019年度) 観光部予算

(単位：千円)

項目	概要	予算額
観光施設維持管理費		31,200
観光施設維持管理費	・ ライトアップ器具保守点検, 観光施設周辺の除排雪, 観光案内標識の清掃 など	31,200
観光資源施設整備費		175,800
観光説明板等改修工事	・ 観光案内板の多言語化改修 など	10,200
観光街路灯整備工事	・ 観光街路灯のLED照明交換, ボラード補修	20,200
函館市旧イギリス領事館外壁改修工事	・ 旧イギリス領事館の外壁の全面塗装および補修	11,600
特別史跡五稜郭跡観光照明塔改修事業費	・ 観光照明塔のLED照明交換	6,200
函館市旧イギリス領事館ブロック塀新設工事	・ 旧イギリス領事館のブロック塀の改修	32,600
函館山麓観光駐車場整備事業費 ※6月補正	・ 函館山麓駐車場の防護柵撤去・新設, 舗装工, 道路改修ほか	95,000

# 1 函館観光の現状

## (1 1) 令和元年度（2019年度） 観光部予算

（単位：千円）

項目	概要	予算額
観光拠点地区駐車場関係経費		33,817
元町観光駐車場管理委託料	・元町観光駐車場の管理委託	11,727
五稜郭観光駐車場管理委託料	・五稜郭観光駐車場の管理委託	4,526
観光駐車場維持管理経費	・元町観光駐車場の消火設備更新 など	17,564
観光案内所（函館駅前・元町）管理運営費		38,709
観光案内業務委託料	・函館市観光案内所および元町観光案内所の管理運営	34,921
その他所要経費	・非常用電源設備の購入 など	3,788
旧イギリス領事館（開港記念館）管理委託料		125
旧イギリス領事館（開港記念館）管理委託料	・旧イギリス領事館の管理運営（令和元年10月からの消費税率変更に伴う増加分）	125
その他所要経費		9,000
その他所要経費		9,000

## 2 今後の観光施策

### (1) 函館観光の課題

#### ● 函館観光の現状

- 国内の道外在住観光客数：減少が顕著
- 外国人観光客数：増加
- 夏季に比べて冬季の観光入込み客数が少ない
- 新幹線が日常の風景に



#### ● 函館観光の課題

- 国内の道外在住観光客減少への対策
- 外国人観光客増加への対策
- 滞在型および通年型観光の実現
- 函館市のさらなる魅力の向上
- 受入れ環境の整備

さらに新たな課題として

#### ● ポスト新幹線時代における課題

- 「次の時代への進化」とその発信（縄文遺跡を活かしたブランド形成など）
- 意欲ある人材が活躍できる仕組み（業界を牽引する人材、ガイドの育成など）
- デジタル社会への対応（ウェブサイトの高度化、AIの活用など）
- 消費拡大の取り組みの充実（富裕層向けコンテンツの開発、宿泊率向上など）
- 「観光地経営」の視点に立った取り組み（科学的マーケティングの導入、DMOの形成検討など）

これまで以上に**新たな施策の展開**が求められている



## 2 今後の観光施策

### (2) 今後求められる観光施策の取り組みについて

1	観光振興のための地域基盤構築 (1) 施策推進体制の整備 (2) 人材育成・労働力確保 (3) 観光文化の醸成
2	ビジョンの発信
3	課題抽出と対策立案
4	観光力の向上 (1) 国際観光都市にふさわしい景観形成、インフラ整備 (2) 交通ネットワークの整備促進 (3) 受入れ環境の整備 (4) 観光資源の開発, ブラッシュアップ (5) フェスティバルタウンの形成
5	魅力発信と誘客促進 (1) 来訪者の視点に立った地域ブランド形成 (2) プロモーションの戦略的高度化 (3) 効果的なプロモーションの実施 (4) MICE誘致
6	地域間の連携

## 2 今後の観光施策

### (3) 今後の課題解消に向けた取り組みに資する他都市の施策事例

(単位：千円)

施策項目	事業名・施策概要	2019年度 予算額	取組 都市名
1 観光振興のための地域基盤構築 3 課題抽出と対策立案	「DMO推進事業」 ・平成31年4月設立の「VISITはちのへ」の観光推進事業に対する助成	168,470	八戸市
4 観光力の向上	「外国人観光客ナイトリズム推進事業」 ・金沢の夜の魅力を内外に発信し滞在型観光を推進 ・夜間ライトアップを活用した観光商品の企画 など	7,800	金沢市
4 観光力の向上	「冬の夜景創出事業」 ・冬の観光対策として、市中心部のライトアップを支援 ・国道沿い街路樹、雪吊りモニュメントなど	5,500	金沢市
4 観光力の向上	「宿泊施設改修支援事業費補助」 ※補助率1/2, 限度額5,000千円 ・宿泊者の利便性向上に資する旅館等の改修を支援 対象経費 内装・設備工事：畳の張替, 障子, 襖の取替, トイレの洋式化など バリアフリー化工事：スロープ・手すりの設置など	75,000	金沢市
4 観光力の向上 5 魅力発信と誘客促進	「富裕層向け食文化観光検討費」 ・金沢の食を通じて歴史や文化を体験する。 ・海外富裕層向け「ガストロノミーツーリズム」の構築を検討	1,600	金沢市
5 魅力発信と誘客促進	「宿泊施設・温泉振興」 ・宿泊施設を核とした地域連携促進事業 ・RYOKANブランドの更なる発信(海外への情報発信強化) ・宿泊施設の経営強化・魅力発信支援など	46,300	京都市
5 魅力発信と誘客促進 6 地域連携	「北陸・飛騨・信州3つ星街道誘客推進事業」 ・南砺市, 白川村, 高山市, 松本市と連携し国内外からの誘客を促進	4,710	金沢市
その他	「徴税経費」 徴税事業者への徴収事務費、特別徴収事務交付金 など	41,700	金沢市
合計		351,080	

今後の課題解消に向けた類似施策を一部抽出した経費 約3.5億円規模

課題解消に向けた観光振興を図るためには、現行施策に加えて新たな施策の展開が必要